

広報たしる

No. 281

昭和52年1月1日

田代町総務課編集

1600部発行



明けまして
おめでとうございます

1977年

新年の

あいさつ

町長

猪鹿倉義則



町民の皆さん、明けましておめでとうございます。
心から新年のお祝いを申し上げます。
年頭に当たり、昭和五十一年を顧みますと、作柄は余り豊作型とはいえませんが、一応の平穏な年といってもいいのではないのでしょうか。
四月末の晩霜や刈入時期の長雨、秋口の台風などで緑茶、水稻、養蚕は相当の減収、一方煙草、畜産、ブローラーなどは価格の引き上げにより、昨年より相当の延びを示しました。

社会教育面に於きましては、校区民長年の願望でありました大原中学校の鉄筋校舎も完成しつつあります。残された屋体などの建設も今後共鋭意努力する心算です。

又、町民待望の町民運動場も籠字須崎に奥アンツーカーの手によって、建設整備中でありますが、三月末には立派に完成するでしょう。五十二年度中にはナイター施設も考慮しなければならぬと思います。

これらの完備で、町民の保健体育の向上に一層役立てば幸いですと考えます。

一方、県道、町道、農林道の改良舗装工事が国、県の補助や過疎債などにより着々に整備されている実状は、皆様ご承知のとおりであります。更に五十一年度から県下で一か町であります。農村基盤総合整備事業で麓地区十三集落の農道、集落道及び生活環境の整備、ほ場整備を約五か年にわたって行なうことになりました。

又、県営事業により川原の柴立川の改良、並に大原地区の富田道路の改良舗装も開始されました。

尚、第二次山村開発事業も五十二年度から始める事に決定しましたが、この事業により町民永

年の要望でありました、中央公民館も山村開発センターの名目で認められ、今後町民の社会福祉や公民館活動もおおいに躍進することと期待致しています。

県が長い期間かけて進めてまいりました、新大隅開発もいよいよ幕を切って落されたといっても過言ではないでしょう。

その背後地における位置づけを如何にするか慎重に検討しなければならぬ年になりました。又、五十一年で見のがせないのが、十一月十日からの電話自動化です。本町の電話の普及率は八十二パーセントにも達し、これまで以上に通信網が充実され、みなさんの役に立つと確信しています。

最後に私が機会ある毎に申あげています、明るく、豊かに町づくりに一層の努力を重ねたいと思います。

町民皆様方の絶大なるご支えとご協力をお願いし、伴せて多幸を祈念し新年のあいさついたします。

一月のこよみ

三日まで	休
四日	成人式
五日	御用始
六日	消防出初式

51年主な出来事

第二期山村振興計画決定

本町は第1期振興山村に引き続いて、昭和52年度に第2期振興山村の指定を受け、この程振興計画ができました。

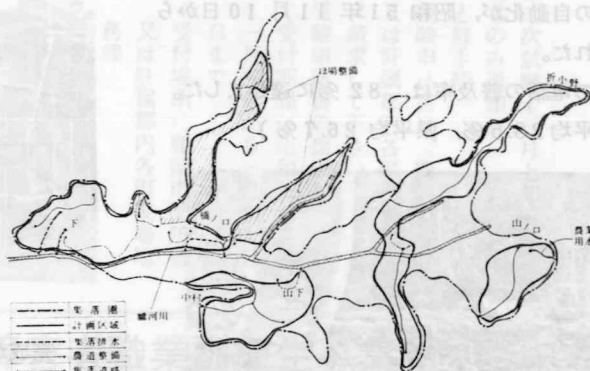
この計画は、昭和52年度から55年度までの4か年で実施されるもので、総事業費は21億5千400万円となっています。計画の決定により、私共待望の公民館（山村開発センター）も、54年度には完成する見込になっています。

農村基盤総合整備事業始る

本町は昭和51年度県内で1か所、農村基盤総合整備事業の実施地域として指定を受け、51年度から54年度までの4か年で事業を実施することになりました。実施地区は麓地区で総事業費3億円となっています。事業の主な内容は、農道整備、ほ場整備などの生活基盤施設及び集落道、集落排水などの生活環境施設の整備が主です。

行政

農村基盤総合整備事業計画図



県営過疎基幹農道整備事業

この事業は、県が実施するもので過疎対策の一貫として、道路整備により地域の生活の向上を目的とし、総事業費12,260万円の4か年継続事業です。

主な事業



表木地区ほ場整備

表木地区のは場整備5ヘクタール、事業費1,000万円をもって、昭和51年3月末に完成しました。

今後の農業生産性の向上が期待されます。

新春を 迎えて

町議会議員

右田 始



昭和五十二年の新春を迎えるにあたり、町民の皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。五十一年度は国政の選挙、本町におきましても、新しい猪鹿倉町長により町政が円滑に進行いたしております。

私共議会としては、今後一段と安定した行政サービスが出来るよう、町当局と一体となって努力し、見守る覚悟であります。地方財政問題については、経済成長の低下に伴い地方財政をめぐる諸情勢は、今後もおおむね厳しいものがあると思われます。

本町の五十一年度財政運営は、健全に運営され大きな支障はない見通しとなりました。

昨年度は、県政の焦点でありました、新大隅開発についても

第二次試案が発表され、将来に於いて大隅住民の浮揚が出来るものと確信致して居る次第であります。

私共田代町に於ても、第二次山村振興の指定を受けることが出来得ました。

町民待望の山村開発センター（中央公民館）の建設も明るい見通しとなり、今後四か年に於て種々の事業を推進して行かなければなりません。

最近住民の自治意識の向上により、私共議会に対する期待や要求も高まっており、それだけに議員の責務も極めて大きくなってまいります。

これに因應するため研鑽を重ね社会の変化を的確に把握し、これに対応した、行政を推進させなければならぬと考えております。

新しい田代町が、すべての面において平和で明るく、更に前進する年となりますよう、祈念いたしまして、年頭のあいさついたします。



わが町のテレビ紹介

1月5日（午前10:30～11:45）

放送の「MBCです・こんにちは!!」で南日本放送によって私達の町のようすが紹介されます。

十二月定例議会終る

一般職員の給与改正など
議案十二件を可決

例の一部が改正されました。

◇ 予算関係

一般会計の補正予算（三号、四号）二千九百七万二千円を追加、総額で七億九千五百五十六万一千円になりました。

※補正された主な事業費

- 町道倉谷大原線舗装工事 四百二十万円
- 鶴岡地区急傾斜対策事業 三百一十万円
- 農林業施設災害復旧事業 一千百九十九万四千円
- 公共土木施設災害復旧事業

◇ 人事関係

- 五百六万三千円
- 公立文教施設災害復旧事業 五十五万八千円

◇ その他

固定資産評価審査委員に山野三蔵氏が再任され、選挙管理委員会委員に、鍋光磨、井手龍親、久保藤雄、田尻静夫氏がそれぞれ選任されました。

広域消防組合の設置について消防に関する事務を共同で処理するため、鹿屋市を含む郡内の九か町で、昭和五十二年四月一日から肝属地区消防組合が設置されることになりました。

長い間、ごくろうさん

選挙管理委員会委員の前田昌之（委員長）氏、川元敏氏、鳥淵節夫氏、日井利行氏は、長い間統一地方選挙、町長選挙その他数多くの選挙の管理執行に務められ、又明るく正しい選挙の推進を計られ行政の発展のためにつくされ、十二月二十一日で任期満了により辞任されました。

委員の任務は地味な仕事で、しかも一つのミスも許されず苦勞が多かったことと思います。

ほんとうに長い間ごくろうさんでした。

人事

町長に

猪鹿倉義則氏

初当選



門前信好前町長の辞任による町長選挙が一月十八日に執行され、猪鹿倉義則氏が初当選されました。

助役に

松田 進氏



昨年の十二月十九日に、前助役の猪鹿倉義則氏が辞任され、空白中でしたが、二月二十一日の臨時議会で前総務課長の松田進氏が選任されました。

新教育長に

今和泉 一郎氏



前教育長の坂元昌治氏が任期満了により勇退され、その後任として十月二十二日の臨時議会で、前大原中学校長の今和泉一郎氏が選任されました。

通信

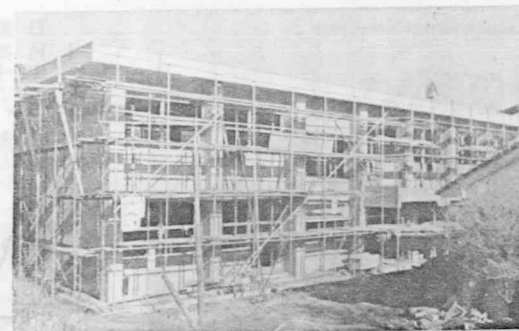


電話自動化

電話の自動化が、昭和51年11月10日から開始された。

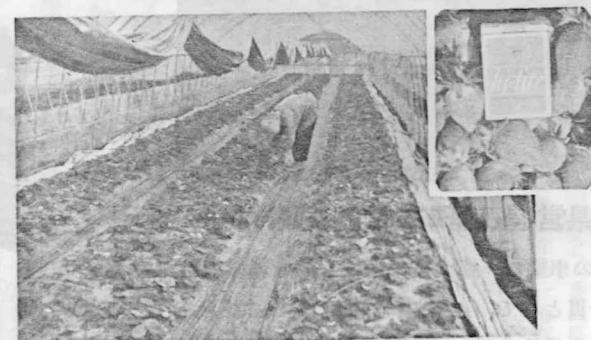
本町の電話の普及率は、82%に達しました。
(全国平均28.5%, 県平均26.7%)

教育



大原中学校新築工事

完成が間近い大原中学校、完成の暁には、安全な場所で生徒達が元気に勉強できます。



ハウス園芸へのいぶき

本町においても昭和51年初めて、3戸の農家の方がハウス園芸のイチゴ栽培を始めました。12月初めに、1回目の出荷があり、光沢、大きさなど立派なイチゴが出来あがり、主に鹿児島市場に出荷されています。

初めての試み

ワサビの生育は順調

本町では、初めてワサビの試験栽培に取り組み、10月12日に植付をしましたが、その後の生育は順調で良好です。

消防吏員採用試験の案内

次のとおり大隅広域消防吏員採用試験について公告されました。

一、職種及び採用予定人員

消防士(A)約四十名

消防士(B)若干名

二、受験資格

(1)年令 昭和五十二年四月一日現在

消防士(A) 十八才以上三十才までの男子

消防士(B) 三十一才以上四十五才までの男子

(2)学歴 学校教育法による高等学校卒業以上の学歴を有する者

(3)身体

ア身長 一メートル六十センチ以上

イ胸囲 八十センチ以上

ウ体重 五十キログラム以上

エ視力 両眼の視力、七以上で色力完全な者、ただし三以上の者でさよう

正視力二〇以上の者はこの限りでない。

オ聴力 ニメートルの距離で低話が聴取できること。

カその他 結核性疾患、伝染性疾患及びその他の疾病を有しないこと。

ハ、合格発表

第一次試験二月下旬頃、合格者のみ通知

九、応募手続

(1)受験申込書は、鹿屋市消防署又は肝属郡内各町役場総務課に請求して下さい。

(2)受験申込書の提出

ア受付期間 昭和五十二年一月五日から一月二十五日まで

イ受付場所 鹿屋市消防署又は肝属郡内各町役場総務課

ウ提出書類

○卒業証明書 ○受験申込書 ○保健所又は公立病院の一般健康診断書 (肺活量を入れる)

エ封筒に「消防吏員採用試験」と朱書きし、五十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封する。

十、問合せ先

大隅肝属地区消防組合設立準備事務局

鹿屋市本町一番五号(市役所企画開発室内)

電話〇九九四四一(三)二二一

又は、鹿屋市消防署、肝属郡内各町役場総務課

第二次試験は三月上旬頃、合格者のみ通知

九、応募手続

(1)受験申込書は、鹿屋市消防署又は肝属郡内各町役場総務課に請求して下さい。

(2)受験申込書の提出

ア受付期間 昭和五十二年一月五日から一月二十五日まで

イ受付場所 鹿屋市消防署又は肝属郡内各町役場総務課

ウ提出書類

○卒業証明書 ○受験申込書 ○保健所又は公立病院の一般健康診断書 (肺活量を入れる)

エ封筒に「消防吏員採用試験」と朱書きし、五十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封する。

十、問合せ先

大隅肝属地区消防組合設立準備事務局

鹿屋市本町一番五号(市役所企画開発室内)

電話〇九九四四一(三)二二一

又は、鹿屋市消防署、肝属郡内各町役場総務課

十一、試験日

昭和五十二年二月六日(日)

試験地

鹿屋市(鹿屋市立第一鹿屋中学校)

八、合格発表

第一次試験二月下旬頃、合格者のみ通知

九、応募手続

(1)受験申込書は、鹿屋市消防署又は肝属郡内各町役場総務課に請求して下さい。

(2)受験申込書の提出

ア受付期間 昭和五十二年一月五日から一月二十五日まで

イ受付場所 鹿屋市消防署又は肝属郡内各町役場総務課

ウ提出書類

○卒業証明書 ○受験申込書 ○保健所又は公立病院の一般健康診断書 (肺活量を入れる)

エ封筒に「消防吏員採用試験」と朱書きし、五十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封する。

十、問合せ先

大隅肝属地区消防組合設立準備事務局

鹿屋市本町一番五号(市役所企画開発室内)

電話〇九九四四一(三)二二一

又は、鹿屋市消防署、肝属郡内各町役場総務課

身体障害者職業訓練生募集!!

国立県営身体障害者職業訓練校では、52年度訓練生を募集しています。

○募集期間

昭和51年12月26日から52年2月20日まで

○応募資格

- (1)義務教育を修了した者又はこれと同等以上の学力のある者
- (2)身体障害者であって障害の症状が固定し、職業訓練に支障のない者(人の手を借りないで集団生活ができるもの)
- (3)伝染病、精神障害、テンカン性疾患等集団生活に不適当な条件のない者
- (4)全盲、ろうあ者でなく補助器具等の使用により職業訓練に支障のない者
- (5)修業意志強固な者

○応募手続

次の書類を鹿屋公共職業安定所に提出してください。

- (1)入校願書
- (2)身体障害診断書

○訓練職種と募集人員

電子機器科、洋裁科、経理事務科はそれぞれ20人、時計修理科、洋服科、義肢装具科、園芸科はそれぞれ10人

○訓練期間

1か年(4月入校3月修了)詳しいことについては、鹿屋公共職業安定所(電話鹿屋局24135番に、お問い合わせください)。

香典返しは施設建設へ

香典返しは、皆さんからの賛否両論の意見があつて、昭和四十七年十一月号をもって中止されていますが、その後も沢山の御遺族の方々から多額の御寄附をいただきました。昭和五十二年十二月二十日現在、田代町社会福祉協議会に寄せられた香典返しや篤志寄

附金は、三百一十四万五千八百六十円の巨額にのぼり、豊協と信用組合に預金として保管されています。この大切な寄附金の使途については、今後建設が予定されている老人福祉センターなどの施設資金の一部に充てる予定です。ここに御報告申し上げます。

火災予防に

心がけましょう

冬は、空気が乾燥する日が多
くまた各家庭でも暖房器具を使
用する機会が多いため、火の取
扱いは、かねてよりいっそう
注意しなければなりません。

ところが、ややもすると、年
末年始の忙しさにまぎれて「つ
いうっかり」と、注意を怠った
り、「だいじょうぶだろう」と
いう安易な気持ちで、火の仕末
をしなかったりしがちです。

そこで今一度次のようなこと
を心がけ、火災を予防しましょ
う。

火災を出さないために

①たばこの投げ捨てや、寝たば
こは絶対しないこと。

②こたろや暖房器具などは、正
しく取扱うこと。

③外出や就寝のまえは必ず火の
元を確かめること。

消火器や水バケツなどを用意
する。

火事になったら

①早く一一九番で、場所、目標

避難に知らせる
難について

① 歳を気にして着替えたりし
ないで早く避難すること。

お年玉

本来は、新年の贈り物のこと
を「年玉」といいます。

お祝いの心をこめた、めでた
い贈り物という意味で、古くは
「餅」だったようですが、この
ごろでは、子どもさんに与える
金銭や物品に限られて使われる
ことになったようです。とく
にここ二三年來物価高騰で、

もらう子どもさん方も額高だけ
を問題にして、純粋な「心」を
受けとめてくれなくなり、親御
さんの重荷のひとつになってい
ます。しかもご近所のお友だち
にもということになると、あま
り張りこんでやるのもへんです
し、何となく気の重くなる風習
です。ご近所へ、ちよっと年始

のあいさつに回るときに持参す
る「手ぬぐい」や「半紙」など
に「御年賀」と書いてあるのを
見かけますが、あれは「御年玉」
とするのが正式です。

の相談は
お気軽に

今年もまた、贈与税や所得税
の申告時期が近づきました。

毎年、この時期になりますと
「贈与税の計算はどのようにす
るのだろうか」とか「土地を売
ったが、税金はどのように計算
するのだろうか」など、税金に
ついての質問や相談が多くなり
ます。

そのようなときは、最寄りの
税務署又は税務相談室にお尋ね
ください。担当の職員や、知識
経験の豊富な相談官が御相談に
応じています。お気軽にどうぞ！

昭和52年成人式

日時 1月3日 午後1時
場所 田代小学校体育館

人口のうごき

12月1日現在

世帯数	1,464 戸
男	2,218 人
女	2,574 人
計	4,792 人

(推計 人口)

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

飲酒運転は
やめよう！

年末年始は、人や車の動きが
激しく、気ぜわしさも加わって
車の運転が乱暴になり、飲酒の
機会が多いです。交通時故に気
をつけましょう。